

第4回フォトコンテストの 作品を募集しています

随時受付中

優秀作品は 優秀賞1名 賞金とトロフィーの授与
入賞 2名 賞金の授与
翌年カレンダーへ使用させていただきます。

応募方法

- ① メールで提出 E-mail: shinagawa@e-392.com
- ② 写真で提出 裏面に事業所名・氏名を記入し郵送ください
〒371-0014
前橋市朝日町 3-12-20 (一社)群馬県造園緑化協会 宛

- 造園作品を撮影した写真(作庭作品や手入れ作品など)
- 過去に撮影した写真も大歓迎です(製作時期は問いません)
- 1人につき多数の応募も受け付けいたします



事務局からのお知らせ

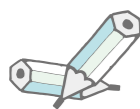
技能検定1級・2級向け技能講習DVDを
貸し出しいたします。

- 1.「プロの技を極める」1級造園技能検定
- 2.「未来へのステップアップ」2級造園技能検定

群馬県造園団体協議会で企画・監修・発行のDVDになります。
貸し出し期間は1回2週間程度を予定しています。
希望される方は事務局迄ご連絡ください。
TEL.027-243-5693



編集 後記



今年の夏、1年延期になった東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。開催については緊急事態宣言下の賛否両論ある中でしたが、自粛生活も2年目となり楽しみの少ない日々の中、始まってみれば開会式から毎日繰り広げられる熱戦に予想以上に楽しんだ毎日でした。

そして季節も変わり、気が遠くなっていた感染者数は日を追うごとに減少し、このままこの騒ぎは過去のものになるのではと甘い考えも横切ような日々ですが…。果たしてこの先、第6波の波はやって来るでしょうか。年明け2月には北京にて冬季オリンピックが開催予定です。さ

らなる自粛生活での僅かな楽しみになるのか、それとも、なにかひとつ荷物を下ろしたような気分を楽しむことができるのか、無事に開催されるまで解りませんが、今はまだ気持ちを引き締めたいと思います。

さて、緑化協会では第37回通常総会において任期満了に伴う役員改選が承認されました。新理事に就任された皆さま2年間よろしくお願いいいたします。そして、任期を終え退任された理事の方々へ深く感謝申し上げます。

新体制になりましたが、活動は昨年同様コロナ禍の手探り状態が続いています。会員の皆さまには、ご理解いただければ幸いです。

会報 造園群馬

No.95 令和3年11月24日

発行 一般社団法人群馬県造園緑化協会
前橋市朝日町3-12-20 TEL.027-243-5693

印刷 小島印刷株式会社
伊勢崎市西小保方町501-4 TEL.0270-62-3298

中之条ガーデンズ 吾妻郡中之条町折田2411
TEL.0279-75-7111

宿根草を中心に、直径40メートルの渦巻き状に設計された「スパイラルガーデン」。周囲の散策路から見下ろす感じで鑑賞できる。



約400種類のバラなど、さまざまな草花や樹木が埋めつくす。

中之条ガーデンズ(旧花の駅美野原)は、趣向の異なる7つの庭とファームエリアからなるガーデンの集合体で、園芸家や育種家、ガーデンデザイナーなど4名の専門家が表現した、たくさんの植物が演じる個性豊かな世界だ。

園内には数百種類の植物が植えられていて、張りめぐらされた遊歩道を散策すると、花や樹木が与えてくれるリラックス感にたっぴりとひたることができる。

宿根草を中心とした「スパイラルガーデン」やあでやかな「ローズガーデン」をはじめ、自然に近い状態で育つ草花の姿を活かした「ナチュラルガーデン」、町民や役所などによる「町民花壇」、ノリ池を中心に中之条町の植生に合わせた草花が埋めつくす「ふるりの野山」、ベンチが用意された「リラックスの森」などが彩りを添える。

折々の園の装い、を楽しむなら、時季に応じて何度か足を運ぶといい。

「ローズガーデン」は趣向の異なる7つのセクションからなり、約400種類のバラが咲き誇る。多くの見物客がスマホにお写真を撮る。



左下の写真は「町民花壇」。右上の写真はおきりこみなどの郷土料理を味わえる「美野原食堂」。右下は「山の花屋」。



ふるさとキラキラフェスティバル

花と緑のぐんまづくり2021in桐生

オープニングセレモニー ●日時/令和3年4月24日(土)午後2時～●メイン会場/新川公園



「市制施行100周年、あしたの緑をいまつくろう」をテーマに「ふるさとキラキラフェスティバル」が開催され、緑化協会から桐生支部とみどり支部が参加・出展しました。

平成20年の全国都市緑化フェアを起源として13年間にわたって開催されてきたこのイベントも、アンカーを桐生市として今回が最後となりました。サテライト会場に「アースケア桐生が岡遊園地」「未来へはばたけ山田製作所桐生が岡動物園」「有隣館」「新里支所」「道の駅くろほね・やまびこ」があげられました。

メイン花壇「つむぐ庭」には事務局や協賛企業のテントが連なり、さまざまな軽食が販売されたり無料で提供されるなどし、若いカップルや家族連れなど、多くの来場者で賑わいました。

「つむぐ庭」のメイン花壇は造園緑化協会と福田造園さんのメンバー、合計約100名が交替しながら、オー

ブンの1カ月ほど前、3月下旬から進めてきました。イベントオープンには約18,000株の花が彩りを添えることになりましたが、これらの株は、フェスティバル用として桐生市内の園芸農家にあらかじめ依頼しておいたもので、苗づくりは前年の夏から行われていました。

天候の関係で水が足りない時期があったほか、気温が低い日が1日あったりしたことから、1,000株を超える小さい花がダメになるというアクシデントに見舞われる事態に陥ったこともありました。結局それらは植え替えることになりましたが、その作業が行われたのはオープンの4日前というきわどい状況でした。

フェスティバル終了後は会場を「原状復帰、しなければなりません。片付けだけでも2日間かかり、その後土を入れて芝を貼るなど、約1週間で費やす大変な作業でした。

撤去される花は、花期がまだ残っているものについて



「つむぐ庭」は大勢の来場者で終日賑わっていました。



メイン花壇「つむぐ庭」の北側に展開された、いづつもの協賛作品の一部。

この作品はみどり支部会員の力作。植木市の前の歩道を挟んで相向かいで愛きょうを振りまいてきた。



会場入口にも花が飾られ、来場者を出迎えた。



主催者はコロナウイルスのせいでこんな看板も作ることになった。



太鼓の勇壮な響きが会場にとどろき渡った。

広場では鉢植えの花が販売されていて、来場者の目を楽しませていた。



は市民の方々に分けたりしましたが、ほとんどの花は廃棄処分となりました。

2日間のみ開催された「植木市」は桐生支部とみどり支部が対応したもので、常時10名ほどのスタッフが詰めていました。大小さまざまな樹木が多数並べられ、多くの来場者の興味をひいていました。

式典では主催者挨拶として、花と緑のぐんまづくり推進協議会会長である山本一太群馬県知事から挨拶がありました（知事は所用で欠席のため、県の担当者による代読）。その後来賓の祝辞が披露され、テープカットが行われました。



山本一太群馬県知事挨拶
(代読、記事の挨拶文は要約)

このフェスティバルは、県民の皆さまに花と緑の素晴らしさを感じていただき、産業振興や地域の活性化につなげていただくことを目的と

しています。今年は「市制施行100周年、あしたの緑をいまつくろう」をテーマに、5万株の美しい花と緑でたくさんの皆さまをお迎えします。このフェスティバルが、地域の皆さまはもとより、来訪される多くの皆さまに桐生市の魅力を知っていただく絶好の機会となることを確信しています。ぜひ桐生市の皆さまにも、お客さまへのおもてなしという形で、ご参加いただき、力を合わせてフェスティバルを盛りあげていただきたいと思います。フェスティバルの盛会と町を花と緑でいっぱいにする活動が今後も末永く継続することを期待いたしますとともに、フェスティバルの開催にご尽力いただきました市民の皆さま、ご協賛ご協力いただいた団体、企業の皆さまに心から感謝を申しあげまして挨拶いたします。

若年技能者の技能の向上、技能振興機運の醸成を願って

ものづくりマイスター、緑化協会に7名

ものづくりマイスター制度とは

若者のものづくり離れ、技能離れが進み、産業の基礎となる高度な技能を有する技能者の育成が課題となっています。

このような中、厚生労働省では、若年技能者の技能の向上、技能振興機運の醸成等を図ることを目的とした「若年技能者人材育成支援等事業」を平成25年度から開始しました。この事業は、建設業と製造業が対象で優れた技能と経験を持つ「ものづくりマイスター」が、中小企業や教育訓練機関の若年者に対して実技指導を行い、効果的な技能の継承や後継者の育成を行う事業を柱としています。また、小中学校等での講義や「ものづくり体験教室」等により、ものづくりの魅力を発信しています。

ものづくりマイスターの対象分野は、技能検定の職種・技能五輪全国大会の競技職種のうち、建設業および製造業に該当する職種（111職種）です。造園職種において群馬県で12名の方が登録されており、その中に緑化協会の会員が7名おりますので今回紹介いたします。

（厚生労働省 及び ものづくりマイスターデータベースHPより）



認定要件

次の基準に該当する高度な技能を有する方

1. 技能検定の特級・1級・単一等級の技能士及び同等の技能を有する方
技能五輪全国大会の成績優秀者（銅賞まで）のいずれかに該当する方
2. 実務経験が15年以上ある方
3. 技能の継承や後進者の育成に関して意欲を持って活動する意思及び能力がある方

＜申請資格＞

1. 応募時に、第三者からものづくりマイスターにふさわしいとして推薦を受けられること
2. 認定を受けた場合、プロフィール・指導内容等の公表が可能であること

前橋支部 根岸 憲一 〔根岸園芸〕 平成25年8月認定	主な指導実績 伝統造園技能講習会など各種講習会での講師 群馬県造園団体協議会や県内高等学校等における造園実技指導	ひと言 先人から、教えて頂いた「庭を作り、守り、育てる」ための知識や技を皆に伝え、広めると云うことは、とても難しく、かえって自身の勉強になっています。造園職（植木屋、庭師…etc）がどんな職種であるかを世間に理解してもらって業として永く続くことを願っています。
---	---	--

前橋支部 武藤 敏彦 〔有武藤緑化〕 平成25年8月認定	主な指導実績 県内高等学校における造園実技指導	ひと言 マイスター認定を受けて以来、訓練校同窓会、勢多農林高等学校に実技指導に行っています。造園業の若者に対してと高校生に対しての指導の大変さを身に染みて感じています。 自分自身の勉強にもなり、良い体験だと感じています。
--	-----------------------------------	---

前橋支部 木暮 幸一 〔有駒形造園〕 平成27年7月認定	主な指導実績 伝統造園技能講習会他での講師 技能士会員や県内高等学校等における造園実技指導 前橋高等職業訓練校短期専攻科講師	ひと言 学生さん達には技術をしっかり教え、造園の魅力を伝えていきたいと思っています。 技能検定に向けての実技指導を、学生や若い世代の人達に行いました。皆さんの上達ぶりに感動し、自分自身もさらなる技術向上をと深く思いました。
--	--	--

前橋支部 根岸 聡 〔根岸園芸〕 平成29年7月認定	主な指導実績 前橋職業訓練校同窓会や県内高等学校における造園実技指導 群馬県造園技能士会における造園技能指導	ひと言 技能向上講習会や高等学校への実技指導を行いました。講習会の中でも、様々な技能レベルの方がいて、全員で同じ様に進む事がなかなか出来ず、教える事の難しさを知りました。普段は忘れがちな基本の作業を、自分でもやってみる良い機会になっています。
--	---	---

桐生支部 茂木 清美 〔有緑光園〕 平成27年11月認定	主な指導実績 各種団体での「庭木の整姿剪定及び管理」を主とする実践技能講習	ひと言 「教える事は学ぶ事」の精神で、マイスターをお受け致しました。 振り返ってみましたら、この世界に入って48年。その経験をいらかでも生かせる事に喜びを感じています。
--	---	---

桐生支部 須永 宜夫 〔須永造園〕 令和元年10月認定	主な指導実績 樹木剪定講習での講師 樹木剪定教室における実演 県内高等学校における造園実技指導	ひと言 樹木剪定教室では、1人で脚立の段取りや、実技指導中「手を積極的に出してください。」と伝えています。 又、安全対策で具体的には、脚立の昇り降りの時は、必ず、鉋や鋸はケースに入れ両手で行動するなど、指導しています。
---	---	--

みどり支部 馬場 忍 〔GARTEN〕 令和3年8月認定	主な指導実績 イベントにて竹垣等の実演・指導 職業訓練校造園科での講師	ひと言 この度、群馬県造園技能士会より推薦いただき、ものづくりマイスターに認定されました馬場忍です。訓練校での指導歴は12年になります。今後は、ものづくりマイスターの名に恥じぬよう今まで以上に知識・技能の向上を目指した指導を行いたいと思います。 また、私自身も時代や環境の変化に対応できるスキルを身に付けた庭師として、より一層の努力を重ね向上したいと思います。たくさんの皆さまのご支援により得られた称号です。この場をおかりして感謝申し上げます。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。
--	--	---

第34回安全衛生大会及び第3回フォトコンテスト開催

●とき/令和3年10月15日(金)午後2時～午後4時 ●ところ/前橋高等職業訓練校

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しての開催になりました。

安全衛生大会開会前に、参加者は会場後部に掲示された第3回フォトコンテスト作品に目を通し、お気に入りの作品を選んだ投票が行われました。

講師2名を迎え準備が整い定刻より少し早く大会開会となりました。安全講話では群馬労働局健康安全課の品川伸一様より、県内での災害事例などを踏まえ身の引き締まる内容のお話がありました。東京電力パワーグリッド(株)送電保守グループの新井厚志様の講話では、送電線付近での作業の注意点や実際に起きた事故事例などのお話があり、作業の際は事前に必ず連絡くださいとのことでした。



プログラムがスムーズに進行され、大会閉会後にフォトコンテスト入賞者発表および表彰式に移りました。まず初めに、前回優秀賞の深澤さんよりカップが返還され、続いて、レプリカが贈呈されました。そして、いよいよ入賞者の発表です。第3回の優秀賞に輝いたのは館林支部の木村重太郎さんです。続き、入賞の2作品は3年連続の受賞になった太田支部の深澤直久さん、もう一人は、館林支部の福田均さんでした。

最後に、須永会長より「本日は久しぶりに皆さんに会える機会になりました。これから年末に向け繁忙期になります。毎日、事故や怪我等なく無事に作業するよう、初心に戻って日々過ごして頂きたいと思います」とあいさつが述べられました。

第34回安全衛生大会プログラム

～第3回フォトコンテスト投票受付～

- 開会◎開会のことば 深澤副会長
- 会長のあいさつ◎須永会長
- 安全事業所表彰式◎西出造園 桐生支部
- 安全講話◎群馬労働局労働基準部健康安全課 安全専門官 品川伸一様
- 謝辞◎木暮専務理事
- 講話◎「送電線の基礎知識と感電災害を起こさないためのお願い」東京電力パワーグリッド(株)群馬総支社 送電保守グループ 新井厚志様
- 謝辞◎木暮専務理事
- 閉会◎閉会のことば 深澤副会長



優秀賞

〔近頃は手入れなどの作業が多く、なかなか造園工事はなく写真を撮れるような仕事は少なくなっています。他に良い作品も多いなか投票してくれた方に感謝します。〕

(有)キムケンさん



入賞

〔幼馴染の住職がいるお寺の庭です。出来るだけ経費を抑えるため飛び石を並べ造りました。若は(尙駒)形造園の木暮さん直伝。〕

(株)深澤造園さん



入賞

〔「丸山八海の庭」と題された作品。受賞された福田均さんは参加されておらず受賞の感想を聞くことができませんでした。〕

(有)福樹園さん



エッセー 木々は好日 34

ドングリでおなじみのコナラ

新木としろう (グラフィックデザイナー)

山だけでなく、公園などでもよく見かけられるポピュラーな樹木で、樹高は15メートル以上になる。

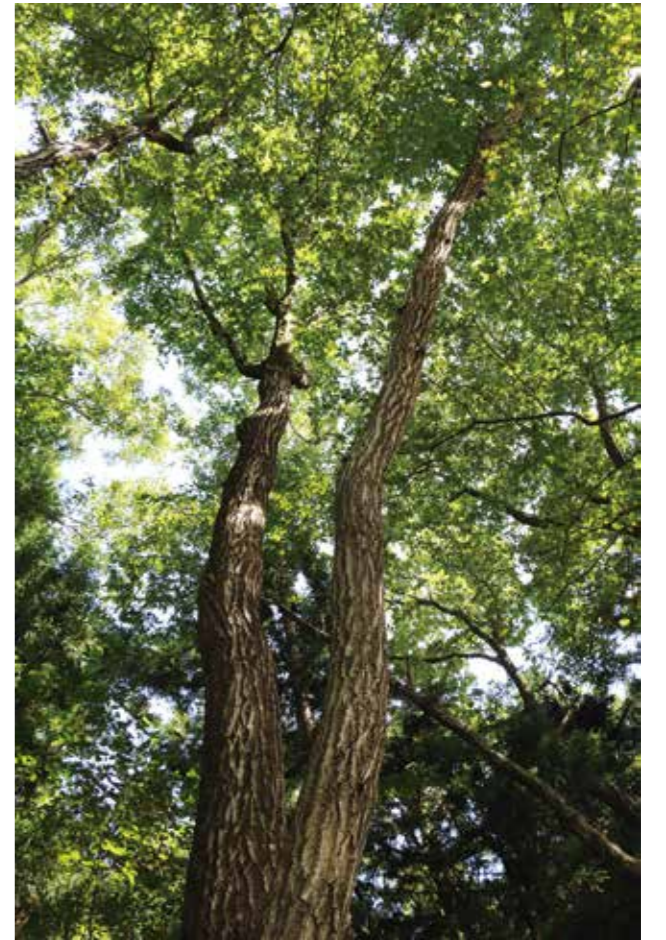
コナラは北海道から九州までの各地に分布するが、関東以西の低地では特に多く分布しているようだ。ミズナラは雪が積もるような寒冷地を好んで分布する。

ナラ類では主にコナラとミズナラがよく知られているが、コナラの葉は長さが10センチほどなのに対し、ミズナラは15センチほどと、かなり大きめで、これが「小檜」の名の由来だ。ちなみに、ミズナラは「小檜」に対して「大檜」の別名でも呼ばれるが、正式名称のミズナラは材が水を多く含んでいることから「水檜」となったもの。

コナラもミズナラも、薪や炭を生産するための「薪炭林」の代表的な樹木で、里山や林に植林されるなど、分布範囲は広い。ナラ類は、かつては関東以西を中心として重要な燃料源とされていた。しかし、1960年代になると灯油など化石燃料が普及し、薪炭林としての存在感は薄れる一方となった。

材は薪炭の原料のほか、シタケの原木に重用される。コナラは多種類の菌類と菌根を作るため、コナラの林にはたくさんの菌根性キノコが発生する。

ミズナラより生長の早いコナラは材が狂いやすいため、主に燃料やシタケ栽培の原木として使われるが、ゆっくりと生長するミズナラの材は狂いにくいため、家



具やフローリングなどに利用される。ほかにも、玩具や漆器素地などにも利用される。皮付きの丸太は茶室の床柱や軒の垂木に使われることもある。

コナラはドングリをならせることでも親しまれるが、言うまでもなく、ドングリはこの木の専売特許ではなく、カシ類やクヌギなどブナ科ナラ属の果実の俗称だ(通常はクヌギの果実をさすことが多い)。コナラのドングリは長さ2センチほどだが、他の木のものも大差はない。そこで「ドングリの背比べ」などと揶揄されることになるが、

ドングリにしてみればはなはだ不本意であろう。

ドングリは山の動物たちの重要な餌であるが、古い時代には人間も食していた。東北地方の農山村では、コナラやミズナラのドングリは重要な食料のひとつだった。しかし、食材が豊かになった現代ではこの食習慣も過去のものとなりつつある。



樹皮は堅く、木肌は縦にひび割れたような感じ。白黒の縞模様になる。幹全体としては緩やかに曲がりながら伸びるため、不規則な樹形になる。



この写真ではわかりにくいですが、葉の周囲は細かいノコギリ状(鋸歯)になる。茶褐色に紅葉するが葉は落ちない。